平成３０年度第１回高梁市公共交通会議議事録（要旨）

日時：平成３０年１２月２５日（火）１０：００～１０：４０
場所：高梁市役所　3F　大会議室２・３
資料：・会議次第、委員名簿、席次表
・第１回高梁市公共交通会議資料
・生活福祉バス、ふれあいタクシー利用者数の推移
・観光乗合タクシー、玉川ふれあいタクシー
運行事業者の変更

１．開　会
人事異動による委員等変更のお知らせ
会議成立報告

２．役員互選　　→拍手多数により決定
（会長：藤澤委員、副会長：三宅委員）

３．会長あいさつ
藤澤会長あいさつ
７月の大災害、台風による大きな災害もあり、道路も寸断されたが、皆さんのご協力・支援によりかなり復旧されています。改めて公共交通の重要性も再認識されたことと思われます。
高齢化の進展が進む地域でありますが、交通弱者・地域活性化のためには公共交通は不可欠と認識しています。今後の公共交通のための重要な会議であり、各関係機関よりお集まりいただいております委員の皆さんの活発なご意見をお願いしたいと考えております。

４．議　事
・観光乗合タクシー・玉川ふれあいタクシー・福地乗合タクシー運行事業者の変更について
（事務局説明）
概要：11/26 に平和タクシー（株）副社長が来庁され、平成３１年１月末に高梁営業所を閉鎖する旨の説明がありました。産業振興課所管の観光乗合タクシー、市民課所管の玉川ふれあいタクシー・福地乗合タクシーにおける共同企業体の１社として運行しているため、事業者の変更を諮るものであります。（２月より平和タクシー（株）を除いて運行）
（質疑・意見等）
なし→全会一致により承認

５．報　告
・平成２９年度　生活福祉バス・ふれあいタクシー利用状況について
（事務局説明）
概要：資料５ページ～１０ページについての説明
（質疑・意見等）

新屋委員：資料について今後お願いをしたいが、路線沿線における地域の人口との比較をしてもらいたい点と、交通弱者の推移がどのようになっているのかが分からないので、次回からはそれらを調べていただきたい。

事 務 局：人口については次回からは比較できる資料を準備したいと思います。

６．その他

・公共交通の今後の取り組みについて

（事務局説明）

概要：資料１１ページ～１５ページについての説明

（意見・質疑等）

植木委員：今後の取り組みについて説明があったが、地域の声の収集はだいぶ過去にされているのではないか？　結局過去の意見が施策に反映されていないのではないか？　有漢地域におけるいろいろな問題点…過去には福祉バス（乗合タクシー）も頓挫した経緯があり、いわゆるそれが地域の声であると思っている。PDCA がしっかりなされていないのではないか？　その結果、市が住民の足を守ることについて、どういう姿勢で取り組まれていかれるのかがポイントではないか？　隣接している周辺部との広域連携が公共交通でもできないものか…？　公共交通に費やした公費を有効に活用させるかをしっかり研究してほしい。

事 務 局：これまでも地域の声は聴いてきております。アンケート・まちづくり協議会等を通じてお伺いしているところでありますが、ここでまた声を聴くというのは、年々実情が地域によって変わってきているのはご理解いただきたいところです。例えば自家用車についても「前」は運転できたが「今」はできないといった声もそうかと思います。広域連携についても当然視野に入れていくことは必要であると考えており、市がリーダーシップをとりながらその内容をお示しし、いかに効率的で皆さまが利用しやすい公共交通網をつくっていく必要があると考えております。皆さまにおきましてもこのような会議の場でご議論いただければと思っているところであります。

三宅委員：平和タクシーさんが撤退した理由というのは何でしょうか？

事 務 局：11 月末に来庁した際に伺った内容ですと、収支面が落ち込んでいるというのが実質の理由ということと聞いております。県内にもいくつか事務所があるとのことですが、それらもいろいろと検討を行っていくとのことです。

政森委員：有漢地域の植木委員からもお話がありましたが、地域で話をするにあたって本当に公共交通を利用される方の意見を聞いていただきたい。説明時は中身の濃い説明を聞きながら公共交通に理解をもっていただきたい。運行事業者からの目線として、各地域の方々が率先して公共交通を使っていくという認識をしていただかないと、どんな議論をしても難しいのではないか？　事業者・地域・行政お互いに意見を聞きながらどのように運行していくか議論をすすめてもらえないか？

事 務 局：議論は地域地域で深めていきたいと考えております。当然市民課においても地域に入って聞き取りを行っていく予定でもありますが、ここにお集りされている皆さま方におかれましても交通事業者、または地域の代表としておられる方々でもありますので、地域の声をこの事務局に届けていただければと思っております。

清水委員：私は公共交通利用者の代表としてこの会議に参加させていただいておりますが、住んでいるのは備中町です。過疎と言われていますが、その原因は公共交通にあるかと思われます。乗らないから…少ないから…ということで片づけられてしまう不安が私たちにはあります。例えば湯野の場合、朝出かけたら夕方まで帰る便がない。出たくてもどうしようもない状況です。病院も受診する科目によっては公共交通機関がない曜日もあるわけでして、受診もできない曜日があります。そうなると備中になんか住んでいられないということになるのです。利用者が何を必要としているかつかんでもらいたいことと、市内に住んでいる人が同じ条件で利用できるような施策を考えてもらいたいと思います。

事 務 局：備中地域において生活福祉バスの利用が少ないのは先ほど説明させていただいたとおりでして、原因は先ほど言われたことが一因していると思われます。これから地域の声をまとめる中で、限られた予算の中で地域の実情に応じた交通体系を検討していきたいと思っております。

５．閉　会

三宅副会長閉会あいさつ

本日は大変お忙しいところお集まりいただきありがとうございました。慎重なご審議に厚く御礼申し上げます。また今後もより一層のご協力、ご意見を賜りますことをお願い申しまして閉会の挨拶とさせていただきます。